

病院の PFI の推進にむけて
～普及期に入った病院 PFI の狙いと募集選定～

病院 PFI の系譜の発展、アドバイザーの視点から

石田 信之 アイテック(株) 取締役

国内の病院 PFI 第 1 号案件である高知医療センターは、同時期に事業者募集選定を行った近江八幡市民病院、また、八尾市立病院は、先例がない中で手探りで、事業のスキームや募集・選定、事業契約、事業開始にたどり着いたといえる。

東京都多摩広域基幹病院（仮称）および小児総合医療センター（仮称）では、高知、近江八幡市民病院、八尾市民病院といった先行 PFI 事業での選定段階から事業実施段階（現在）までにわたる反省点、課題を十分吟味して、その課題解決にむけた取り組みを行っている。

そのポイントは、次のとおりである。

- **S P C による業務委託の統括マネジメントの明確化**

先行事例の運営状況から鑑みると、病院 PFI は、運營業務すなわち業務委託における S P C の統括マネジメント能力が、事業の成功には必要不可欠であるといえる。医療技術の進歩、制度改革、患者・疾病構造の変化と変化要素は非常に多く、そのなかを病院と一体となって舵取りをしてゆくには、個々の専門的サービスよりも全体を最適化する統括マネジメントこそが重要となる。

- **開院前の計画段階における施設および運用設計の重要性**

現在の医療環境における病院整備事業では、患者から選ばれる病院となり、競争環境に打ち勝つことが求められている。それには、建物の刷新だけでは不十分であり、病院の中身、ソフトの刷新・再構築が必要である。さらには、患者の期待や評価の視点からは、開院と同時にその達成・実感が必要である。従来の再整備事業では、建物を新しくしその後段階的に計画した病院運営、サービス提供を実現しようとする事業が多かったが、今の時代それでは折角の投資に対する効果・インパクトが半減してしまうといえる。そういったことから、施設整備、運営・サービスの改善、業務設計を一体的に行うプロジェクトマネジメント能力が重要とされる。

- **事業者の選定にあたっての審査・評価項目の絞込み**

病院 PFI は、施設整備、運営支援（業務委託）、材料等の調達業務など病院経営の直接的要素を担っているとともに、その事業範囲は広範多岐にわたっている。しかし、一方でその事業範囲全てを同じ深度で提案・評価しても、平均値の高い提案の評価点が高くなり、必ずしもベストな事業者が選定される訳ではない。そこで、事業者の応募負担軽減も加味して、審査項目の絞込みを行うことが実施されている。

以上は要点のみであるが、これ以外の改善点、および今後必要なさらなる改善点について報告・議論ができればと考えている。